



令和6年度

新庄小学校だより 12月号



デジタルとアナログのよりよいミックス

校長 山口 浩二

右の画像は、ある学級の連絡画面です。これまで、連絡帳に担任の板書を書き写していましたが、オンラインで配信するようにしました。この情報をノートに書き写してから下校する子もいますし、端末を家に持ち帰って確認しようとする子もいます。個々の判断で翌日の準備を進めることができるようになってきています。ちなみに1年生では、発達の段階を考慮し、先生の話聞くこと、書き写すことを優先に取り組んでおり、配信は3学期以降の予定です。

右の写真は、ある学年の連絡用ホワイトボードです。学年担任が今週の予定や生活上の留意点など様々な情報を随時記入しています。登校してきた子供は、この場所に立ち止まり、自分にとって必要な情報を整理し、一日の見通しをもちます。すぐに立ち去る子もいれば、じっくり考え込んでいる子もいます。デジタルやアナログなど、子供たちは様々な情報の中に身を置きながら学校生活を営んでいるのです。

さて、令和3年に一人一台端末が導入され、子供たちはネット検索機能を利用して学習するようになりました。今では国語や道徳など自分の考えや解釈をつくる授業でも盛んに活用しているようです。AIの進歩により、登場人物の気持ちの変化や作者が物語を通して伝えたかったことなど様々なことについて模範的な回答を示してくれるので便利なのでしょう。私のように、教科書だけで授業をしてきた人間からすると「自分の頭で考えないと・・・」と言いたくなるのですが、高度情報化社会を生きる子供たちにそのような制限を与えたとしても意味がなさそうです。むしろ、子供たちを取り巻く情報量と多様性、その即時性を想定したうえで授業をデザインすることが私たち教員に求められているのです。一方、様々な情報に囲まれて生活している子供たちに求められるのは、ネット情報の特性について理解することであり、情報を扱う際の責任やマナーを身に付けることだと思うのです。

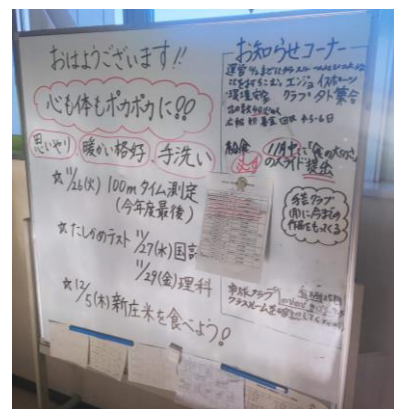
学校では、一方的にICT化を進めるのではなく、デジタルとアナログのよりよいミックスを心がけながら、子供たち自身で必要な情報を選択し、それを咀嚼した上で主体的に行動できるよう支援しています。ご家庭でも折に触れて指導していただきますようお願いいたします。

11月21日(木)のれんらくちょう

明日のよてい		今日のしゅくくだい
教科	もちもの・ないよう など	かんじれんしゅう 理、少、谷
1限	算数	8のだん 10いじょう
2限	国語	漢字
3限	生活	
4限	図工	
5限	生活	1組に発表

そのほかのれんらく

- ・こんだんかいの紙は11月25日までに出示しよう
- ・お手紙のさいしよのワークシートを出していない人はもってきます。



地域にも親しまれる場所に ～新庄の森～

グラウンド東側にある「新庄の森」は、これまで創校記念事業などの機会に地域の皆様の援助をいただきながら銅像の修復や小川の整備等を繰り返してきました。この場所は樹木も多く、水の生き物に触れることもできるので理科の学習として大いに活用していますし、稲作体験など社会科の学習としても利用しています。地域の方々にも親しまれる場所にしたいという思いで高学年児童も整備に努めています。先日、環境委員の子供たちが全校に呼びかけて、森の各所に花苗を配置していました。現在、ベンチ等の修繕に取り組んでいます。近くにお越しの際は、お立ち寄りください。

